

素鷲地区タウンミーティング(要約)

平成26年9月7日(日曜日)

【市長】 皆さんこんにちは。今日は日曜日の午後でございます。皆さん何かとご予定があったのではないかと思いますが、このように大勢の方がお集まりいただきまして本当にありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては、素鷲地区民生児童員協議会の会長さん、町内会連合会の会長さん、そして役員の皆さんのお力添えをいただきました。本当にありがとうございます。このタウンミーティングですけれども、松山市は旧の松山市、旧の中島町、旧の北条市を合わせて41地区に分かれます。我々は市役所に待っているのではなく、我々から各地区に出向かせていただいて、各地区の課題やお困りごと、魅力について教えていただいて、魅力は伸ばして課題は少なくしていこうとタウンミーティングを始めさせていただくことになりました。松山市のタウンミーティングの特徴ですけれども、できるだけこの場でお答えをするようにして帰ります。ただ、国や県と関係をする案件や財政的な問題があるもの、こういったものはいいかげんな返事をして帰るわけにはまいりませんので、そういうのはいったん持ち帰らせていただき検討させていただいて、1カ月を目途に必ず地区に返事をお返しします。やりっぱなし、聞きっぱなしにしないのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。この松山市のタウンミーティングですけれども、2巡目に入りました。ガス抜きやパフォーマンスだったら1巡で終わっていたかと思うんですけれども、私は一市民からこの立場をいただいた人間です。もっと行政と皆さんとの距離を近くしたいんです。そういった思いから2巡目に入っているところです。素鷲のタウンミーティングは2年8カ月ぶり2度目になります。今日は90分という時間でございますけれども、緊張なさっていると疲れてくると思いますので、あまり緊張なさらずに、ざくばらんな前向きな話し合いができればと思っています。今日は将来の素鷲を背負って立つ立場となる小学生の方、中学生の方もお越しですので、前向きな話し合いができればと思います。今日はどうぞよろしく願いいたします。

【女性】 前回のタウンミーティングで素鷲校区に低所得者が安心して入れる特別養護老人ホームをつくらせていただきたいと発言をいたしましてご回答をいただいておりますが、第5期福祉計画に基づいて施設が遅れている地域を中心に市内15カ所の整備を行っているところなんですけど、その15カ所の中には素鷲は入っておりません。前にも申し上げたのですが、設備が遅れている地域の中にぜひ素鷲校区を入れていただきたいので

す。今でもどんどんたくさん施設が建って、サービス付き高齢者住宅とか色んな名前の老人ホームがあるんですけど、民間のホームに入るにはお金がたくさんかかります。最低13万とか15万とか17万とかかかりますので、平均して国民年金の6万ぐらいの生活をされている高齢者にとってはとても手が出ないで指をくわえてあきらめている感じです。素鷲の校区はご存知のように2万人のうち5千人が65歳以上ですけれども、所得の低い高齢者が圧倒的に多いんです。生活保護を受けていなくて生活保護すれすれとかそれ以下とか、それこそ爪の先に火を灯すようにして塩さばを何きれにも分けておかずにするとか、本当に涙ぐましい努力をしながら市のお世話にならないで生活をしておられる方がたくさんいらっしゃいます。そういう方の願いとしては、体が動かなくなってもどうしても自分のことができなくなったときに、特別養護老人ホームがあれば安心をして生きていけるというところで、今度の市長さんの活動報告の中にも、どの地域でも住んでいる地域で高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進いたしますとありますので、ぜひとも素鷲校区に特別養護老人ホームをつくっていただきたいという強いお願いでございます。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の西市です。ご意見どうもありがとうございます。今現在の素鷲地区の高齢者の状況についてご説明させていただきます。素鷲地区の人口は1万9,490人の方がお住まいです。その中で65歳以上の高齢者は5,315人で高齢化率は27.3パーセントで、かなり高齢化が進んでいます。最高齢の方は102歳の女性の方が住んでいらっしゃいます。これは8月1日現在の数字となります。高齢者施設については高齢福祉課長から説明させていただきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。

【高齢福祉課長】 高齢福祉課長の花岡といいます。先ほどご質問のあった特別養護老人ホームを素鷲地区に建設してほしいというご要望は以前から何度もいただいております、一生懸命考えているのですが、まず松山市の特別養護老人ホームなど的高齢者施設の建設の方針についても1度ご説明させていただきたいと思っております。こういった施設は公平性を図る観点から松山市内に民生委員さんの活動区域が40地区ございまして、この40地区を日常生活圏域と捉えましてその40地区について既存の施設の充足率の低いところから民間の力をお借りして建設を進めております。この計画は3年を1期として3年間間に高齢者の状況等も変わりますので、3年ごとに計画を立てて、その計画に沿って施設整備をさせていただいております。今回は平成24年度から3カ年が始まっているのですが、計画期間の最初の年度に松山市内の特別養護老人ホームに入所を

申込みされている人数を調査をいたしまして、その人数をもとに国の考え方とか3年間の高齢者の伸びを勘案しまして、整備すべき床数をまず決めさせていただきます。必要な整備床数が決まりましたら基本的に充足率の低い地区を整備しますが、今回は全部で12地区にさせていただきました。興居島・伊台・栗井・道後・潮見・雄郡・八坂・味酒・三津浜・和気・石井西・東雲が下位から12の地区になっております。その当時の素鷲校区の充足率は14番目です。この充足率は先ほど有料老人ホーム等がたくさんあるとおっしゃったのですが、そういった有料老人ホームは介護保険施設の対象にはなっていないので、市で充足率として捉えているのは介護保険施設である特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型医療施設・認知症高齢者グループホームがどれだけその地域に建っているかで考えさせていただきます。それともう1つですが、大きな最近の考え方として以前の特別養護老人ホームといった施設は、土地の単価の問題だと思うんですが、人里離れた非常に不便な山奥に建てられていた関係で、そこに入所をされますと今までつきあいのあったご近所の方がなかなか訪ねていけない。入ったら入ったきりというかたちで措置されていたわけですが、厚生労働省もそういったことでは高齢者の人権とか生きがいにもかわるといふことで、昔は広域型といいまして1回に100床とか非常に大型な施設が多かったのですが、今は地域密着型特別養護老人ホームといいまして、基本的に29床の小さな施設をなるべく皆さんの近くに建てていこうという計画で進めております。この老人ホームは素鷲校区にあるのがベストかもわかりません。ただ、素鷲校区に建ったとしても特別養護老人ホームの入所の方法は、まずご自分がホームに入りたいといったときに自分のご希望のホームを回っていただいて、そこに入所の申込みをされます。入所の申込みがあったときに先着順に入れるわけではありません。これは介護保険で要介護1から要介護5までの介護度に分かれていますが、各施設に入所判定委員会を設けまして、申込みのあった方の中から介護度の重い方、そして近くにご兄弟やご家族の介護をする方がいらっしゃるかどうか、そういった色々な条件によって緊急に入っていただかないといけない方を定めまして、その上位の順から施設に入っていただく仕組みとなっております。

【市長】　そういう流れがある中で、次の計画の中に素鷲が入るのかどうかを皆さんは求めていらっしゃるんですよ。

【高齢福祉課長】　それで、次の第5期で充足率が前回とは変わってきたと思うんです。県から入所の人数も出ました。今後、3月末に向けて待機入所者を解消するために何床整備する必要があるか、またどこが施設整備

が遅れているかを計画の中に反映しまして、公平な立場で考えさせていただいたらと思いますので、また計画が新たになったところで改めてご説明させていただいたらと思います。

【市長】 松山市内は旧北条と旧中島もあわせて41地区ありますので、それぞれ色んな観点があると思います。そういうのを総合的に判断しながら計画を立て建設をしていくというかたちになっておりますので、ご理解をいただいたらと思います。1回目のタウンミーティングでも素鷲地区からこのご意見をいただきましたし、また今回の2回目のタウンミーティングでもご意見をいただきましたので、真摯に捉えさせていただいたらと思います。

【女性】 こんにちは。原発の再稼働についてのお願いです。この前の福島原発事故を見まして、私は高齢者ですけどああいうことになったら大変だと思って署名を集めたり、ちょっとした集会に出まして活動しております。直線距離にしましたらここは伊方から60キロですね。もしものことがあったら風の吹き方では大変なことになりますので、宇和島の市長さんとか西予市の市長さんとかはノーのお声を聞くんですけど、野志市長さんからはまだその声を聞いておりませんので、ちょっと心配をしております。野志市長さんは中村知事ともとっても仲がよろしいので、お二人そろって四国電力にしっかりとメッセージを送っていただいて、私たち市民・県民を安心させていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【市長】 私からお答えをさせていただきます。まず、原子力政策は国がエネルギー政策として進めてきたものです。ですからこの政策をどうするかは国でしっかりと決めていただく必要があると思っています。国がどうするのか、周辺の自治体がどうするのか、また電力会社がどうするかはしっかりと見極める必要があると思っています。松山市は家庭で太陽光発電をつける方が増えていますけれども、太陽光発電をつけられたら補助を出します。補助を出す件数が中核市の中でトップクラスです。松山サンシャインプロジェクトといいまして太陽光発電を進める。また、太陽光発電の関連企業を誘致してくるのも全国の中でもかなり早くやり出しております。我々は原子力に依存するのではなくて、できるだけ自然に負荷をかけない太陽光発電を中心としたエネルギーを進めていきたいと思っていますので、ご理解をいただいたらと思います。よろしく願いいたします。

【小学生】 中村3丁目にある焼肉屋の横のところで僕たちが通学する時間帯に車が入ってはいけないところに入ってくる人がいるので、入ってこ

れないように検討をしてほしいと思います。

【市長】 これは早速検討をしなければなりません。動かなければなりません。

【都市政策課長】 都市政策課の川口です。よろしくお願ひいたします。ご意見ありがとうございます。早速、検討をさせていただきます。これは警察のことになりますけれども、私から警察に連絡をしまして地域の交通指導員さんもおられますので、そちらの方にもご連絡して検討させていただきます。よろしくお願ひいたします。

【市長】 本当にこのタウンミーティングは動きます。早速、明日に警察へ連絡をして動きます。例えばどこが市道でどこが県道でどこが国道かわからないですよ。ね。「しどう」も市道と私道がありますし、農道もありますし、皆さんわからないですよ。ね。遠慮なくおっしゃってください。我々から県のことでも県に伝えますし、国のことだったら国に伝えますし、遠慮なくおっしゃっていただきたらと思います。また、今日はタウンミーティング終了後はすぐに帰りませんので、地図も持ってきておりますから通学路とか道路でここが心配だとか、街灯があったら安心だとか、この溝が危ないんだとかありましたら遠慮なく言っていただきたらと思います。よろしくお願ひいたします。

【男性】 日の出町中ノ町町内会長・日の出分館長をしております。前回、24年1月27日に開催されたタウンミーティングでも要望を出しました石手川の河川について、今回の参加申込書にも書いております。観光温泉文化都市の松山市南に位置する一級河川石手川の葦の除去のお願いについて、市から県に移管されたことは聞いております。県が2回にわたり去年と一昨年に除去されました。除去された石手川は新立橋の上流200メートルほどです。一昨年が100メートル、去年が100メートルで2回実施をしていただきました。1回目除去したところは2回目除去したときには中州に葦・雑草が茂り、前回意見を出した児童が遊べる石手川ではないと思います。再考をお願いしたいと思います。それから1回目の反省を通じてお願いをしたいのですが、1回目のときに意見を出した石手川の葦の撤去について、県から市へ話があったのだらうと思いますが、治水上問題がないために現在のところ実施は予定しないとのことです。聞くところによると、地域と市と県で石手川環境美化推進協議会が組織されているように聞いております。当協議会は広報等では一切見ておりませんので、当協議会のメンバーや進展状況等をお話いただければ助かります。なお、先ほど市長もお話されましたように、立花から土砂をきれいに除去したとなっておりますが、新立橋から下流、中村橋上流の堰までの北側にあるさ

くら幼稚園南側の葦・雑草・岩石のひどい状況はいかかなものか。市および県の管理者が明日にでも再度見ていただきたいと思います。これを見ていただいたら、先ほど市長が言われた立花橋から上流の土砂を除去したことにはならないと思います。ひとつよろしくお願いします。一級河川でありながら県が対処できないならば、国土交通省の河川事務所とも相談して、観光温泉文化都市の石手川ですから、児童が自由に遊べる、お魚を獲ったり、貝を拾ったりできる石手川にできるようよろしくお願いいたします。

【都市政策課長】 都市政策課です。よろしくお願いいたします。ご意見ありがとうございます。先ほどのご意見は前回のタウンミーティングでもご意見いただいております、これまでの経緯についてはおっしゃるとおりでございます。改めてご意見いただいておりますので、愛媛県へ8月に再度問い合わせをしました。愛媛県からは、「愛媛県では、非常に長い区間の河川を管理しております、治水上支障のある場合、水が流れる断面を確保するため堆積した土砂の撤去を行う工事を実施しております。それにあわせて河川内の葦等の除去等を行っている状況です。平成25年度には石手川の中流域の遍路橋、立花橋、末広橋上流で工事を3カ所実施しました。また、平成26年度は石手川の上流域、遍路橋よりも上流で1カ所実施しました。これからも多く寄せられている地元のご意見を踏まえて限られた予算の中で優先順位を決めて、緊急を要する箇所から土砂や葦の撤去を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。」という回答をいただいております。言われますとおり一級河川でございます、松山市としても石手川緑地の整備を10年にわたって、河川敷を利用して公園の整備も進めておりますので、これからも引き続き県にも要望をしていきたいと思っております。先ほど言われました石手川環境美化推進協議会は河川管理者である愛媛県が主催している会でございます。警察・松山市・地元町内会・公民館の皆さんで構成される団体で、年に1回、総会を愛媛県で開いております。石手川の沿線にありました不法占用住宅が以前はかなりの数あったのですが、その撤去も目的の1つでございます、撤去が終わった箇所を公園に整備するという会議もありまして、不法に建設された住宅の撤去の状況でございますけれども、以前は100件以上あったものが今は61件というのが進捗状況でございます。

【市長】 私から聞きたいのですが、我々からしたら愛媛県さんきれいにやってくださいよと思うのですが、難しいのはやはりお金の面ですか。

【都市政策課長】 そうですね。葦の撤去が目的ではなくて愛媛県がやっているのは河川の断面に土砂が大部溜まっておりまして、土砂が溜まることで草とか葦が生えるということで、土砂の撤去はかなりのボリュームに

なるので、1番はお金の問題だと思います。

【市長】 なるほど。

【男性】 今の説明でわからないことはないですけども、この報告書の対応状況1の3行目から見てください。「その後、愛媛県が平成25年9～10月に新石手、日の出町（立花橋上流）、立花（末井広橋上流）の3地区で川底に溜まった土砂を撤去し、川底をならす工事を実施しました。」このように書いてあれば先ほども言ったように、明日でも構いませんから、市長を含めて新立橋から西を見てください。これをひとつよろしくお願いいたします。

【男性】 自主防災組織からお願いをしたいと思いますが、地元で水源として緊急時に井戸を掘ってほしいという要望です。一昨年、枝松公園にパイプを3カ所も4カ所も打ちましたけれども、結局は水が出ない。それで最終的にどうしたかといったら水道業者にお金を払ったけれど、近くの農家の昔の井戸を緊急時に貸してくださいという約束をただけで終わりました。私が考えるのには昔から池がいっぱい素鷲地区にはありました。特に私の横の池とか、それから祇園町の池とか、大音寺の前の池は今はありませんけれども、消防詰所の前にも井戸を掘っております。もし大災害があった場合に水源をどこで取るのかといったら、結局は消火栓しかないのですが、四国ガスが一生懸命に耐震化のフレキシブルなパイプを新規に入れ替えておりますが、松山市の水道局はそういう工事をしているのでしょうか。もし消火栓が使えない場合は自然水利ですが、自然水利の場合は、今の時期は水源に水がありますのでポンプで水を汲んでおりますが、稲が熟れたら水が要りませんので、これからあと来年の6月くらいまでは河川に水が1滴も流れません。そこで自然水利を取れということになると、どうしても井戸を掘ってもらっておかないといけません。私が辞めるときに必ず詰所の庭には井戸を掘ってくれと言っていたのですが、辞めた人間はいらないこと言うなという感じで私たちの要望はあまり聞いてもらえないようです。私に聞いてもらったら、あの土地に浄化槽があったかなかったかは、私が許可権限を持っておりますので、許可した覚えもないし、あそこは住宅が50年前からずっと建っていたところで浄化槽は一切ないです。そこを浄化槽が有るかないか調べるといって、20万も30万もお金を使ってやるのだったら、井戸の1カ所でも掘ってもらったら、私たち住民としては非常に助かります。井戸はどこでも掘ったら出るものではないですけど、昔から池があったような場所なら、自然に湧水というか吹き出してくるものです。私は平成6年に自宅の庭に井戸を掘りました。そうしたら川崎荘が燃えたときも私の井戸からすぐにホースで連結して消

火することができました。それが消火栓からとなるとホースが5～6本になるので、消火栓をいっぱい増やしてくれと言ったのですが、消火栓の間隔も決まっていると。水道管の本管のパイプが200しか入っていないから300あったら消火栓も増やすことができるけれど、200の管では消火栓ばかり増やしても、結局は両方で水の取り合いになって水圧が落ちるからだめだということなどいろいろ問題がありまして、消火栓を増やすことはできませんでしたが、井戸はこれから増やしてほしいと思います。今の詰所の場所だったらもともと風呂屋が2軒あって、両方が風呂を汲んでも支障ないほど地下水脈が十分に流れている場所ですから、井戸の設置を何カ所かをつくってもらったら本当にありがたい。冬場でも水が流れているのは枝松と小坂だけです。中村から西は全然水が流れません。そういうこと考えたら、自然水利を利用するのだったら井戸を掘っておくべきではないかということで、井戸の設置をくれぐれもお願いしておきたいと思います。お願いします。

【消防局総務課長】 消防局総務課長の中矢でございます。ご質問ありがとうございます。井戸の問題ですけれども、素鷲地区には消火栓が142カ所、その消火栓とは別に防火水槽を9カ所整備しております。その消防水利とは別に拓川運動広場には100トン型の耐震性貯水槽も整備しております。今現状は自然水利もあわせまして素鷲地区は消防活動上有効な水利は確保できているものと考えております。それと先ほどの井戸のお話は以前にもお聞きしております。今年度に蔵置所を移転するようにしており、井戸のことも検討はいたしましたけれども、検討した結果、新たな水源を蔵置所に併設して設置する計画をしております。井戸も大変有効であると考えておりますので、今回の貴重なご意見も参考にさせていただいたらと思います。どうもありがとうございました。

【市長】 井戸ができるじゃないかと住民の方がおっしゃって、うちは、井戸は難しいですという理由は何なのかは明確に言えますか。

【消防局総務課長】 もし例えば渇水の場合に井戸が出なかつたりするときに、そこを消防水利としてしまうと消火活動ができない恐れもあります。水槽であれば必ずそこに100トンもしくは60トン、40トンという水源が確保できていますので、その水槽を使用した消火活動が有効にできると考えております。今現状は井戸より水槽を選定しておりますけれども、今後は井戸についても検討させていただきたいと思います。

【男性】 水槽は循環式ですか。石井小学校の水槽は水が腐って臭くて、訓練したときにホースを洗うのに、ものすごく時間がかかったのです。あれは家に水かけたら苦情が出るぐらいは水が腐っているんですよ。循環式

であれば私は何も言いません。溜めているタンクはもうだめですよ。石井小学校へ行って水質を調べてもらったらいいですが、あれでは絶対に消された家の方が困りますよ。循環式でいつも使った分だけ減る水槽なら文句ないです。ただ、ステンレスのタンクに溜めているだけだったらだめだと思います。これはよそのタンクでも同じだと思いますけど、溜めているのは水が腐ります。

【消防局総務課長】 ご意見ありがとうございます。循環式の耐震性貯水槽は、今、松山市に4基あり、この4基の水槽は循環しており、拓川運動公園と防火水槽は循環しておりませんが、担当している消防署が常に水利調査を実施しておりまして、水質等も確認しております。ただ、今回新たに立花蔵置所の移転地に新設する水源は水が腐らない水槽を整備する計画でありますので、ご理解いただけたらと思います。

【市長】 いい意見交換だったのではないかと思います。住民の皆さんはこれまでのご経験でこう思っている、消防はこう進めているという意見交換、キャッチボールができたのがいいのではないかと思います。これからも引退したら何も言うななんて言いませんので、知識と経験をお持ちなので、みんなで松山の防災を高めていくことが大事ですので、遠慮なく言っていただけたらと思います。ありがとうございました。

【中学生】 拓南中学校3年です。松山の石手川公園駅のホーム側の道路で、ちょっとくぼんでいるところがあって、昼間ならまだ明るいから大丈夫ですけど、夜だったら暗くて危ないので、交通整備をするか街灯をつけて明るくするか、どちらかをしてほしいと思っています。

【市長】 場所はどの辺ですか？

【中学生】 駐車場のある、石手川公園の遊具とか小さい子とかが遊ぶところの道路です。

【市長】 はい。わかりました。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。道路の舗装が傷んでいる話ですか？暗いという話ですか？

【中学生】 内側が斜めになっていて、端を通るときに危ないです。

【市長】 歩いて通るとき？自転車のとき？

【中学生】 自転車です。

【市長】 なるほど。細かい場所はまた教えてもらいましょう。

【都市政策課長】 また場所を教えてくださいまして、何かできることがあるかどうか調査をしてご連絡します。ありがとうございました。

【市長】 先ほど国道・県道・市道というお話をしましたが、松山市道は全部で1,700キロあります。皆さんもご覧になったことがある

と思いますが、黄色いパトロールカーが松山市役所に3台ありまして、穴ぼこがあったら、車に道具を入れていまして、簡単な補修だったらすぐできるものも入れて回っております。やはり3台のパトロールカーでは限られるわけで、皆さんが発見して、すぐに連絡をいただくとすぐに対処もできますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。それがものすごく助かることであります。何課に言ったらいんのだろうとか心配なさらずに、道路がくぼんでいるんですと言っていただいたら、担当に回しますので遠慮なく言っていただいたらと思います。よろしくをお願いします。

【小学生】 立花駅の道ですけど、小児科クリニック側から人がよく来るんですけど、車の通りが多くて、足の不自由な人とかは、歩道橋は階段がきつくて上るのが苦勞するので、横断歩道をつけてくれればいいと思います。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。これも検討させていただきますけれど、基本的な考え方がございまして、横断歩道は警察の管轄になりますけど、歩道橋のある箇所は、原則として横断歩道はできないと聞いたことがございます。横断歩道をつけてしまうと、歩道橋のほうが安全ですが、歩道橋を通らなくなると。しかし、歩道橋は今言われたように、これから高齢化社会を迎えて、お年寄りの方が階段を上るのが不自由であると思います。今までは、基本的には歩道橋の下には横断歩道はつけないということがありましたけれども、ご意見を警察に言うておきますので、またご報告させていただきます。ありがとうございます。

【男性】 空き屋を壊した後の更地は税金がどのようになるのでしょうか。趣旨が違ってもわからないですけど構わないですか。

【市長】 全然構わないですよ。このタウンミーティングは地域にかかわるお困りのことだったら何聞いても構わないですから。

【男性】 人の話でいろいろ聞くと、土地の税金が上がると聞くものですか、おわかりでしたら教えていただいたらと思います。

【市民部長】 市民部長の片山と申します。ご質問ありがとうございます。確かに、空き屋を壊して更地にした場合は軽減がかからなくなります。ですから、上がってきます。これは間違いないです。これは国の政策なので、今、国も考えていると思います。そういうこともあるので、空き屋を壊さないことになっていると思いますので、これは国の方針を待ちたいと思っています。

【男性】 減免措置はないのですか。

【市民部長】 それは今のところないと思っています。

【市長】 もう1回ちょっと重ねて言われたらいいと思います。家が建っている状態だと税金はどうなるのですか。

【市民部長】 どなたもですけど、個人の住宅が建っているときは軽減がかかっています。何分の1かは、確認しないといけないですけど、安くなっています。住んでいる住居ですから安くなっています。それを壊して家がない普通の更地になると、安くなっているのが元の固定資産税に戻るわけです。

【市長】 考え方が違うかもしれないですけども、あなたは空いている土地をお持ちだから普通に税金をいただきますよという考えですかね。

【市民部長】 国の政策なので何とも申し上げにくいところがあるんですけど、簡単に言うと税金は家が建っていると安くなっている。

【男性】 軽減がかかったものが、壊した場合は元に戻る。

【市民部長】 壊した場合は元に戻る。はい、そういうことです。

【市長】 これはおそらく国もルールづくりを急いでいると思います。例えば有害鳥獣対策。全国どこでも猪とかサルの対策は困っているんです。我々も農林水産省と接するときは、「有害鳥獣対策とか耕作放棄地対策を何とかやってくださいよ。国がもっと主導権持ってやってくださいよ。」という話をしているんです。松山市だけが困っているのじゃなくて、今治市さんも松前町さんも砥部町さんも空き家の対策は全国で困っているわけです。それを各地の市町が困るんじゃなくて、国がちゃんと主導権とってやってくださいと。法律は国でつくっているものです。県や市のルールは条例になるわけです。県や市の独自のルールは条例になります。国がつくっているのが法律ですから、やっぱり我々は、法律をもっと現場にあつたものにしてくださいと全国市長会、知事になると全国知事会を通して国に要望していくのですけれども、そういう中で国も空き家対策をどうするかは、全国で悩んでいるので急いでいると思います。

【男性】 先ほどの話ですけど、石手川の葦と除去の関係ですけど、先ほど、市長は立花橋から上は全部整地されて、土地は撤去されていると話をされましたので、さきほど僕が言ったように、明日以降、行政の管理者で新立橋から下から、中村橋に至るところを必ず確認をしてください。先ほど僕が意見を出しましたけれども、その返事がないものですから再度。

【市長】 ごめんなさい。これらの場所は素鷲地区の石手川全体からすると一部ですのでと申し上げています。あくまでも一部のこととして、県が実施をしたと思っています。全体をやったとはとても思っていないので、我々もやはりきれいな河川にさせていただきたい思いはあります。

【男性】 2年かけて新立橋から上の200メートルほどだけ整備されて、

新立橋から下は僕がタウンミーティングで話したとき以前と同じ状態です。先ほど市長が行政のほうから回答もらってそれを答弁したんだろうと思いますけれども、立花橋から東は整備をされていません。市長を含めて管理者で新立橋から下を確認してください。

【都市政策課長】 都市政策課ですけど、先ほども言いましたように、全部じゃなくて、県から聞いていますのは、25年度には遍路橋の上流と立花橋の上流そして末広町の上流の3地点の一部の区間だけでございますので、全体ではないです。実は来る前にも見てきたのですけれども、新立橋の下流は以前のままという状況を見させていただいております。前回やったところについても、もうすでに葦が生えている状態のところもございまして、県に再度申し入れをさせていただきたいと思っておりますのでよろしく願います。

【男性】 どちらにしても、児童が石手川に下りられる石手川にしてください。よろしく願います。

【女性】 素鷲校区には保育園が2つありますが、松山市もだと思っておりますが、働いているお母さんがたくさんいらっしゃるしまして、保育園に入れない子どもたちがかなりいると思うんです。それに対して保育料も所得に対しての金額なのでかなり高い。一時保育は1日5時間までとか制限がありまして、母親として子どもを預けて働くということがかなり難しい状況ですが、今後、松山市に保育園が増える予定とか、改善はあるのでしょうか。

【市長】 全体的な方向性を申し上げて、担当からお伝えをいたします。松山市にとって、子ども子育てはものすごく大事なことだと思っております。これまでは課が主体になってやっていたのですけれども、今年4月に新たに部をつくりました。課単位から1つ上げて、子ども・子育て担当部長をつくりまして、子どもの対応や子育ての対応をさせていただいております。そして、国でいうと保育園は厚生労働省の管轄になります。幼稚園は文部科学省の管轄になります。でも、皆さんからしたら、そんなのあまり関係ないですよ。ですので、一緒にしようというので、保育・幼稚園課をつくって対応をさせていただいております。それで、大きな国の流れがありまして、来年の4月ですけれども子ども・子育て関連3法という子ども・子育てに関する3つの法律が動きだします。その1年前に松山市は早く動こうということで動いたのが保育・幼稚園課であり、子ども・子育て担当部長を置いたことになります。子ども・子育てはすごく松山市にとっても大事なことなので、これからはしっかりとやっていきます。今年4月には松山市は待機児童ゼロを達成することができましたけれども、これに浮かれることなく、まだまだ子育てのサポートを求めている方はいらっしゃる

るので、やっていきたいと思っています。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の西市です。ご意見どうもありがとうございます。松山市も待機児童対策を、かなり熱心に取り組んでいます。この素鷲地区には、公立の松山保育園と私立の立花保育園の2カ所存在しています。今年度4月に待機児童の入所状況を確認しました。公立保育園の松山保育園では150名の定員に対して130名で、そのときの入所待ち児童者数は1名でございました。そして、私立の立花保育園では定員が70名に対して70名が利用されている状態でもございました。入所待ち児童数は2名で、かなり待機児童者数がこの地域でも増えているのが現状でございます。ただ、来年度から国の待機児童者数の定義も変わってきます。今現在は入所待ち児童者数から保護者が休職中などの保育の必要性の低い児童者数を除いた数字を待機者数としておりますが、来年からは保護者の方がアルバイトとかをされていて、入所できる条件になってきますので、そのあたりを見据えた上で、今後の松山市の保育事情を考えていきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

【市長】 待機児童という国の定義があるのですが、今、申し上げたように国の定義自体も実態と合っているのかということがありますので変えようとしています。4月1日現在の待機児童ゼロは、現在の国の定義に基づいたものですが、私たちとしては入所待ち児童が実際にいるとよくわかっていますので、子ども・子育てのサポートはこれからもしっかりとやっていこうと思っています。

【中学生】 拓南中学校3年です。イオンの前に立花駅に向かう大きな道路があると思うんですけど、その両サイドに歩道がないと思うんです。そこは自転車とか通る人も多いと思うので、細い白線だけでは危ないと思ったので、対応をよろしく願いいたします。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。イオンのどちら側になりますか？

【中学生】 駐車場から西側です。

【都市政策課長】 はい、わかりました。現場を見させていただいて、西側は市道になりますので、市でどのような対策ができるか考えてみたいと思います。以前、あそこは国道に出る車の台数も多かったのですが、車線数を増やして歩道部分を縮めることをしましたけれども、どういうことができるか調査をさせていただきます。ありがとうございました。

【市長】 イオンの西側は立花駅までずっと続くけど、どこぐらいのところまでをイメージしていますか。

【中学生】 立花駅を越えてもずっと細いと思います。

【市長】 確かに立花駅の通りは結構、車の通りも多くて自転車で走られる方も多いですね。

【都市政策課長】 この通り全体に歩道をつけるのが1番いい方法だと思うんですけども、歩道をつけるためには道路の幅員を広げなければつかないんですから、そのためには沿線に家がありますので、家の撤去とか土地を提供していただかなければならないことがございますので、すぐの対応はなかなか難しいと思います。以前、この沿線上に水路がありまして、水路の上にグレーチングという金属の製品があったんですけども、それが滑りやすいということで自転車でも滑らないような緑色の安全対策をしておりますけれども、それ以外にどういうことができるかということで、歩道整備はすぐには難しい印象がありますけれども、イオンの前については1度検討させていただきたいと思います。ありがとうございました。

【市長】 あのあたりはグリーンベルトというんですけど、歩道の緑がずっとついていないですかね。

【中学生】 イオンから車が出るところは緑色があったと思うんですけど。

【市長】 そんなにはっきりとは覚えていないよね。ありがとうございました。皆さんご存知だと思うんですけど、道を広げようと思ったらその沿道に住む方に土地を提供してもらわないといけませんよ。土地を下がってもらわないといけません。下がってもらうならば、土地を買わせていただくという話になります。移転することになりますと、その場所もみないといけませんよ。1軒だけ下がってもらったのではいけないんですよ。1カ所だけ広いのはいけませんので、全体として下がっていただかなければならない。それをやろうと思ったら、時間も費用もかなりかかる話なので、それが現実的にできないとするならば、ハードができないのだったらソフトとしてやり方があるだろうということで、市内各地で増えているのは歩道のところを緑に色づけをして、ここは歩道ですから車の人は気をつけてくださいとか、交差点の大きさにもよりますが100万円とか200万円とか300万円ぐらいのお金で、交差点を赤にするカラー舗装化ができるんです。ですので、知恵と工夫でやれることはあると思いますので、この立花のあたりも見させていただいて、どういうことができるのか検討させていただいたらと思います。

【男性】 失礼します。子育て支援と高齢者の福祉についての項目がございしますが、私も12～13年、高齢クラブの会長をこの3月までしております、前回のミーティングにも参加させていただきました。私も市長さんに特別養護老人ホームの設置について希望を申し上げたい次第でございます。現在、素鷲校区にはご承知のように私立の老人ホームが何カ所か

ございまして、私の知人も入っておるわけですが、やはり1カ所の金額は12～3万円から、最初の敷金とか入居一時金等を入れましたら約20万円が必要になっております。毎月、夫婦で入りますと20万円を突破いたします。そういう状況に現実の姿はなっておりますので、私も高齢クラブの会長をしておりますと、高齢者ばかりでございまして非常に気にかかるところでございまして。そういう立場上、再度、重ねてご無理をお願いするわけでございます。もちろん前にいらっしゃる市長さんも部長さんも課長さんも皆さんもいずれは高齢者になれる立場の方だと思いますが、どうか今から整備をしていただくつもりで、愛南町にはすでにできているようでございますが、素鷲校区に公営の老人ホームを松山市もひとつ頑張っていたきまして、我々高齢者のために頑張っていたきまして、よろしくご配慮のほどお願い申し上げます。ありがとうございました。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の西市です。今のご意見は先ほどのご意見と重ねて、第6期の策定に向けた中で検討をしたいと思っております。ただ、松山市単独では特別養護老人ホームは持っておりませんが、周りの市町村を含めて東温市とか松前町とか伊予市・中山町といったところと一緒に久谷に特別養護老人ホームを公設で1カ所持っております。こういった部分も皆さんに広く周知をしていきたいと思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。ありがとうございました。

【男性】 家の立ち退きですが、立花駅の南から西側へ行く拓川グラウンドに向けての道があるんですが、その角地が更地になっているんです。あそこを改修していただいて、6メートルのアーチをとってもらって、緊急車両とか消防車両が進入をするのに、角に家があったときは何回か切り返していたのですが、今の更地になっている段階で市が動いて、立花1丁目のグリーンマンションのところみたいに円を切って広げてもらったら、拓川グラウンドから入ってはくるんですけど、こちらからはなかなか大型の消防車両は入れないと思っておりますので、あそこのカーブの部分交渉してもらって、隅切りなりあの土地の一面を買うなり市で対応をしていただいたら、朝晩の老人介護の送り迎えの車は結構台数が増えておりますので、お願いしたらと思っております。よろしく願いいたします。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。また、詳しい場所をお教えいただきまして、調査をさせていただきたいと思っております。市が地権者の方に土地をくださいという申し出は難しいといいますが、地域のご意見の総意を持って要望書を上げていただいて事業をする仕組みになっておりまして、市が強制的に土地をくださいという動きはしていないところでございまして、ご理解いただけたらと思っております。お願いい

たします。

【市長】 私からお話をさせていただいたらと思います。今、国自体が1千兆円の借金を抱えているのは皆さんもお聞きになったことがあると思います。地方には地方交付税交付金とか国庫支出金というかたちで地方にお金が回ってきます。仕送りと似たところがありまして、親元が苦しいのだったら仕送りが増えるわけがないですよ。これからはどこの自治体も厳しい財政運営ですが、松山市は例えば北海道の夕張市のようにたちまち財政破たんをすることはございません。でも、財政を見させていただいて、油断はまったくできないのが現状です。どこの地方自治体も厳しい財政運営を強いられていきます。この後ですけれども、少子高齢化です。私も皆さんもですが高齢化していきます。どちらかというとお世話になっていくほうです。今日は子どもたちが来てくれていますが、少子です。高齢の方が増えていくのですけれども、子どもの数は少ない。これは将来、働いてお金を納めてくれる人の数が少なくなることを意味します。お世話になる人は増えて、働いてお金を納めてくれる人が少なくなるんです。ですから、何を行政としてつくって、それをどう維持していくかはものすごく大事なことになっていきます。こうやって皆さんのお声を聞かないことには、間違っただけではいけないので、皆さんに絶対お約束をするのは、いいかげんには聞きません。必ず真摯に対応をさせていただきます。私も人間ですから皆さんから要望をいただいて「わかりました、それやりましょう。あれやりましょう。これやりましょう。」と言ったほうが楽です。でも、中には財政的な問題があってもなかなかすぐにできないこともあります。行政の難しいところが、いったんつくって2年ぐらいで調子が悪いからやめますということはなかなか言えないです。ものをつくってしまうと、20年、30年経つと古くなるわけです。そのときに維持管理するためのお金を出さないといけない。それは誰がお金を出すのかというと、今、小学生・中学生の世代が担当になるわけです。我々の世代は何を持って将来の世代に残していくべきなのかをよく考えないといけない時代になっているんです。私も財政的に余裕があれば「わかりました、それやりましょう。」と比較的に言えたのかも知れないですけれども、なかなか現状は難しい状況になっています。でも、皆さんはあまり財政のことは気にしないで言っただけのほうがいいです。それは皆さんの声に真摯に耳を傾けて、今何をすべきなのか。後手を踏まないように何をしておくべきかをきちんとやっておかないと、将来にツケを残すことになってしまうので、今、皆様のところに行かせていただいて、このようにタウンミーティングを重ねさせていただいております。限られたお財布の中で市がやることはものす

ごく分野が広いです。道路のことがたくさん出ていましたけれども、限られたお財布で交通のこともやらないといけない、教育のこともやらないといけない、ごみのこともやらないといけない。例えば教育のことでいうと、私、就任させていただいて真っ先にやらないといけないと思ったのが、小学校・中学校の耐震化です。避難場所になる体育館の耐震化は平成20年度には終わっていたのですけれども、子どもたちが長い時間を過ごす小学校・中学校の耐震化は全部ができていたわけではなかった。将来の日本を背負って立つ子どもたちが長い時間を過ごす小学校・中学校の耐震化がまだ間に合っていない。平成33年度に完了の予定だったのですけれども、これは有効な公共工事だということで前倒しをして平成29年度までの完了予定で進めているところです。消防団のポンプ蔵置所も耐震化ができていないところが松山市に多々ありました。いざ出動をしようと思っても、消防団の車が出ていかなければ対応できません。小学校・中学校・公民館は分館・集会所が松山市内に300カ所ぐらいありますけれども、公民館本館も耐震化できていないところがあった。これも避難場所に使えないから耐震化をしないとイケない。上水道の耐震化もできていないと、いざというときにきれいな水を届けることができない。下水道も困ってしまう。そういうので、耐震化に思い切ってやる必要があったので、お金がたくさん要ったところがあります。これは後の世代にツケを残すことができないので、いつ地震が起こってもいいように早めに対応をさせていただきました。このように松山市の仕事は幅広い分野があって限られた財政の中でやっているとイケませんので、どうしても優先順位をつけさせていただくことになっておりますことをご容赦いただきたいと思います。ただ、皆さんのご意見に真摯に必ず受けとめさせていただきます。真摯に受けとめないのだったら、2回目のタウンミーティングなんてやらないです。出れば出るほどしんどいことになりますから。今日言っていただいた川のことでも早速この帰りを見て帰って、真摯に対応をさせていただいたらと思います。最後になりますけれども、一般的には政に治めると書くのが政治です。でも、私は一市民から皆さんの応援をいただいてこの立場をいただいた人間です。誠実に皆さんの声に耳を傾けて、誠実に取り組んでいく誠で治める政治をこれからも日々重ねていけたらと思っておりますので、皆様のご理解をよろしくお願いいたします。今日は長時間にわたりましてありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

— 了 —